



校長室だより

令和6年度

4月23日

NO. 6

「分かる! できる! 楽しい! 授業」



「主体的対話的で深い学び」が、今の学びの姿です。担任の先生が一人でしゃべって進める授業は、今や昔の授業で、子供自身が自ら学ぼうとする姿勢が重視されます。もちろん秦梨でこれまで進めてきた『学び合い』も、主体性を重視した授業の形であり、昨年度子供たちが授業を「楽しい」と捉えられるのも、主体的に進めてきた成果であると考えます。

しかし、すべてが子供だけでできるわけではありません。先生が一齐に話した方が効率的であり、子供の理解も早い場合もあります。それでもやはり、子供の姿勢や表情が大事です。自分から分かるうとしたり、話を聞こうとしたり、進んでノートを取ったりする姿が、主体的になります。

二十日には、今年度初めての授業参観がありました。子供にとっても先生にとっても、ちよっぴり緊張し、楽しみでもある授業参観でした。一、二年生は、お父さんお母さんがみえることでうれしさいっぱい。じゃんけん列車では、一緒に笑顔いっぱいできました。三年生は算数で「同じ数ずつ分ける」課題を、数図ブロックを使って考えました。自分で操作して考える、それこそ主体的です。四年生は図工「絵の具のぼうけん」、いろいろな表現方法から自分で選んで表現します。ビー玉の転がった後には素敵な絵が出来ました。五年生は算数でL字型の体積を求めました。「○○さんに似ていて〜」「右のをちよつと分けて〜」「おー、天才じゃん」分かります。みんなの考えが関わり合い、対話的な学びが出来ました。六年生算数「線対称・点対称」では、自分で見つけて自分で考える「個別最適化」の授業でした。タブレットの扱いも、さすが六年生、今の時代に合ったものでした。

「分かる・できる・楽しい」そんな授業を一年間、続けていくことを目標したいと思います。

◇令和6年度 秦梨小学校 全校遠足◇

日にち：4月25日 8時30分 学校出発! ~ ジブリの見学 ~ 午後4時 学校到着

行き先：ジブリパーク ☆「大さんぼのしおり」をよく読んで、楽しくいきましょう。